

本 講 座 の 特 色

【動産評価アドバイザーの育成】

企業活動の基盤となる動産（集合動産・個別動産・知的資産）を適正に評価することにより企業の実態を把握するための『目利き力』を養成します。

【実践的なプログラム】

カリキュラムは基礎編と実践編に分かれており、基礎編では動産評価の基礎知識を学び、実践編では個別動産と集合動産の評価・処分・管理を学びます。特に集合動産の実習については、『見て』『触れて』商品の実態価値判断に迫ります。

【充実した講師陣】

講師陣には、集合動産の動産評価鑑定士・個別動産には査定士・コンサルタント・司法書士・弁護士・売掛金、電子債権の専門家が担当させていただきます。この講師陣により動産譲渡登記上の問題点やデフォルト時の注意点等、更に売掛金の担保および電子債権の基礎知識等、具体的に実践面への対応をより強化いたします。ご期待ください。

参 加 要 領

- 期 間 2022年5月23日(月)～27日(金)
- 時 間 9:30開始、終了時間はカリキュラムをご覧ください。
- 受 講 料 198,000円(テキスト代、昼食を含む。消費税込み) ※日本動産鑑定会員165,000円
- 日 数 5日間
- 定 員 24名(定員になり次第、締切りといたします)
※通常48名定員ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため24名とします。
- 会 場 きんざいセミナーハウス(東京・四ッ谷)
- お申込先 一般社団法人金融財政事情研究会 研修センター スクール事務局
〒160-8519 東京都新宿区南元町19
TEL: 03-3358-0054(直通) FAX: 03-3358-1971
- 申込方法 【1】別紙申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお申込みください。
(申込締切日 5月9日)
【2】申込書到着後、開催約1か月前より順次、請求書と受講証をお送りいたします。開催3日前までに届かない場合にはご連絡願います。
【3】認定講座と認定試験の請求を分けた請求書をご希望の場合は、申込書の所定欄に○印をご記入ください。
【4】領収証がご入用の場合は別途ご連絡願います。
- お 願 い 【1】カリキュラムの構成上、期間途中の受講者の交代は認めませんので、ご了承ください。
【2】ICレコーダーなどの記録機器の持込みはご遠慮ください。
【3】資料等は事前準備に必要な資料以外は原則として当日会場でお渡しいたします。
受講者以外の方にはお預けいたしません。
【4】受講料の払戻しはいたしません。お申込みをキャンセルされる場合は、キャンセル締切日(5月9日)までに上記お申込先へご連絡ください。上記日時までに受講料をご入金済みの場合は、返金手数料(税込み実費)を差し引いてお返しいたします。上記締切日以後のキャンセルはお受けできませんので、講座への出欠に関わらず、受講料をお振込み願います。
【5】駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止措置については、当会ホームページをご覧ください。
(感染拡大の状況により、開催を中止する場合があります。)

■「動産評価アドバイザー認定試験」 実施日 2022年5月28日(土) 受験料13,200円(消費税込み)

会 場 の ご 案 内

〒160-0007 東京都新宿区荒木町2-3

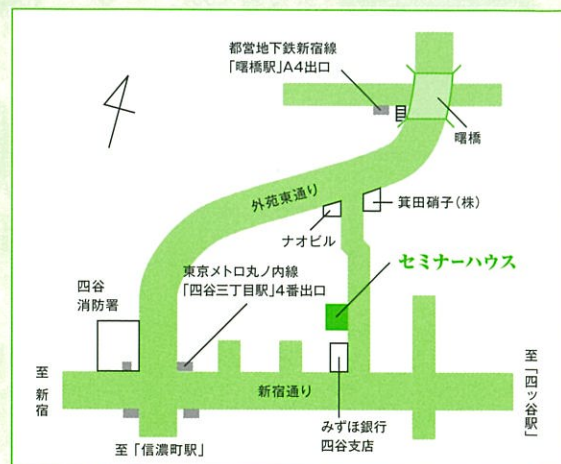
きんざいセミナーハウス

TEL. 03-3358-0054

(研修センター スクール事務局 直通)

【交通】

- ・東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」4番出口 徒歩3分
- ・JR中央線・総武線「四ッ谷駅」四ッ谷口 徒歩10分
- ・東京メトロ南北線「四ッ谷駅」2番出口 徒歩10分
- ・都営地下鉄新宿線「曙橋駅」A4出口 徒歩7分



特定非営利活動法人 日本動産鑑定 認定

第31回 動産評価アドバイザー養成認定講座 開講のご案内



- 期 間 2022年5月23日(月)～27日(金)
- 時 間 9:30開始、終了時間はカリキュラムをご覧ください。
- 受講料 198,000円(テキスト代、昼食含む。消費税込み)
※日本動産鑑定会員165,000円
- 日 数 5日間
- 定 員 24名
- 会 場 きんざいセミナーハウス(東京・四ッ谷)
- 対 象 金融機関の法人担当者、融資・審査担当者、信用保証協会、
企業支援・事業再生に携わる方、公認会計士、税理士、中小企業診断士、
動産管理担当者、損害保険会社の査定担当者、その他
- 認定試験「動産評価アドバイザー認定試験」を実施します。
●日 時: 2022年5月28日(土)
●受験料: 13,200円(消費税込み)
●対 象: 動産評価アドバイザー養成認定講座修了者

主催: 特定非営利活動法人 日本動産鑑定

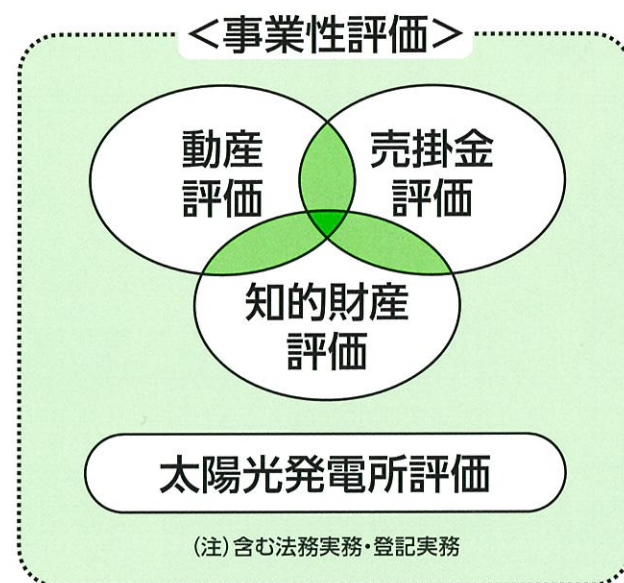
共催: 一般社団法人 金融財政事情研究会

“事業性評価の推進”は、 この講座から始まります！

「動産評価アドバイザー養成認定講座」
で習得できること

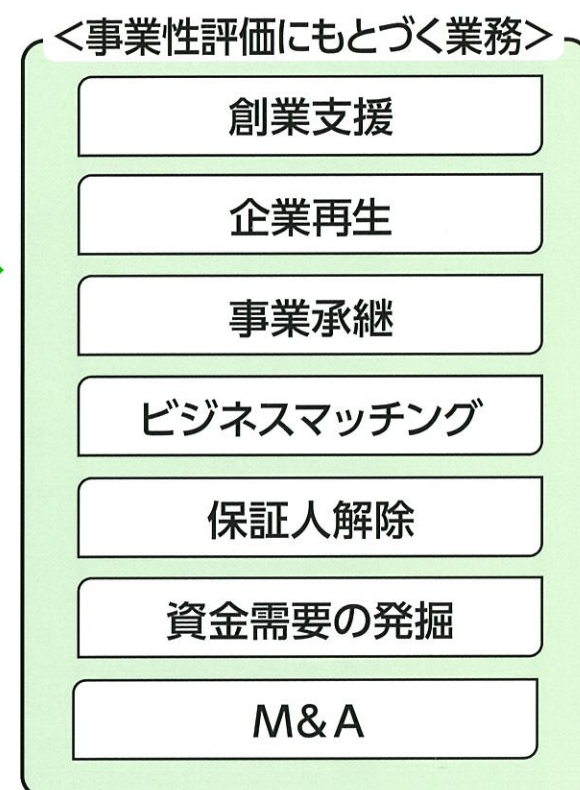
➡ 受講後の業務への活用

- 1 事業性を評価（深く理解）するには
どうすればよいのか？
⇒ 動産・売掛・知財の評価方法を解説
⇒ 企業・事業を見る目が変わります！



- 2 企業経営者とどのように
コミュニケーションすればよいのか？
⇒ 各種事例を解説
- ・ 動産評価を活用して他取引奪取
 - ・ 事業性評価を活用したビジネスマッチング
 - ・ 知財評価を通じて技術力が証明された事例 他

取引企業の事業を深く理解することは、
地域金融機関の日常業務において
必須の基本スキルです。
この基本スキルを習得してはじめて
日常業務の付加価値があがります。



研修担当の皆様へ

本講座は、これまで1,200名以上の動産評価アドバイザー認定者を輩出しています。
これまで金融機関の営業推進・融資・審査・事業性評価推進・地方再生部署、
営業店の支店長・渉外担当者・融資担当者が本講座を受講しています。
地域金融機関の本業にかかる人材育成に向けて、本講座のご利用をご検討
いただけますようお願い申し上げます。

■カリキュラム

日 時		講師名	講 義 内 容
2022年	9:10～9:30		オリエンテーション 主催者挨拶
	5月23日(月)	9:30～17:30 特定非営利活動法人 日本動産鑑定 久保田 清 氏	①企業の実態把握と動産評価・管理・処分 (1) ABLの正しい理解 (2) 動産評価の役割 (3) 動産評価はどのような業種に活用できるか？ (4) ABLトータルサポートプラン (5) 動産担保融資のまとめと今後 (6) 動産評価アドバイザーのまとめ (7) 「ABL（動産・売掛金担保融資）の積極的活用」について (8) 「経営者保証に関するガイドラインの概要」について (9) リスク先への対応と経営者保証ガイドライン適用に対する事例 (10) 東京都制度融資活用事例 (11) 動産評価活用による取引成功事例 (12) 長・短融資バランス改善による取引正常化事例
5月24日(火)	9:30～12:00	株式会社電子債権応用技術研究所 田中丸 修一 氏	②売掛債権担保の実務と電子記録債権の活用 (1) 売掛債権ABLの背景 (2) ABLにおける売掛債権の目的と評価、回収手続き (3) 電子記録債権のABLへの活用 等
	13:00～14:20	特定非営利活動法人 日本動産鑑定 杉浦 信也 氏	③動産概論Ⅰ (1) ABLの基礎知識 (2) ABL推進における留意点
	14:30～17:00	正林国際特許商標事務所 正林 真之 氏	④知的財産を活用した「かち」創りへの気づき (1) 企業価値の含み損益 (2) 売上増加、利益向上に向けた競争優位の構築 (3) 特許情報の積極的な活用
5月25日(水)	9:30～12:00	SSJ司法書士法人 城谷 浩 氏	⑤動産譲渡登記 (1) 動産譲渡登記制度 (2) 管轄登記所と本店所在地の登記所・各証明書の内容 (3) 登記申請 (4) 動産登記事例
	13:00～14:50	特定非営利活動法人 日本動産鑑定 杉浦 信也 氏	⑥動産概論Ⅱ (3) 動産・債権譲渡特例法のポイント (4) 動産・債権譲渡登記のポイントと対抗要件 (5) 動産・債権の評価と貸出金額の考え方 (6) 管理業務と期中管理・処分・回収 等
	15:00～17:30	渥美坂井法律事務所・ 外国法共同事業 根津 宏行 氏	⑦動産譲渡担保権実行の法的実務 (1) 「商流の把握」の法的意味 (2) 担保実行に係る法的手続及び実務上の取扱い (3) 申立代理人や管財人との交渉 (4) 動産譲渡担保権実行に向けた行内体制の整備
5月26日(木)	9:30～15:00	昭和リース株式会社 五十嵐 弘 氏	⑧個別動産 評価・鑑定・処分 (1) 個別動産の定義 (2) 個別動産の分類 (3) 個別動産の評価 (4) 個別動産の処分 (5) 関係法令
	15:10～17:10	特定非営利活動法人 日本動産鑑定 大島 聡 氏	⑨太陽光発電の事業性評価 ⑩養殖業の事業性評価
5月27日(金)	9:30～17:00	特定非営利活動法人 日本動産鑑定 大島 聡 氏	⑪集合動産 (1) 動産評価を始める前に (2) 動産評価で使用する語句 (3) 評価の前提 (4) 動産処分について (5) 実習 (6) 評価例 (7) 処分例 ⑫ABL総合補償プラン
	17:00～		終講式
5月28日(土)	10:00～11:30	動産評価アドバイザー認定試験	【基礎編】
	12:30～14:30		【応用編】

※講師、講義内容、時間等は変更になる場合がございます。